



記	者	発	表	資	料
令	和	8	年	2	月
0	2	2	—	2	1
1	—	2	5	2	7
担当： 大野、鈴木					

宮城県立劇場の建設現場の仮囲いへのアート作品掲示について

みやぎ県民文化創造の祭典実行委員会（事務局：環境生活部消費生活・文化課）では、宮城県立劇場の認知度向上、建設工事に対する理解、景観の向上、文化芸術振興の機運醸成を図るため、宮城県立劇場の建設現場の仮囲いにアート作品を掲示します。

今年度は、障害のある方の文化芸術活動を支援する特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパンと協力し、障害者アーティストの菅野眞二氏の作品を掲示します。

また仮囲いアート作品制作にあたり、下記のとおり、菅野氏や仙台駅東まちづくり協議会等が宮城県立劇場周辺のまちあるきワークショップを行いますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

1 菅野 眞二（かんの しんじ）氏 プロフィール

東松島市在住。東日本大震災後に石巻市で設立された、障害者アーティストの芸術活動団体「ペンギンズアート工房」に所属。

動物やスポーツをしている人物などの対象をじっくり見て、サインペンとパステルでスケッチをする。そぎ落とされた輪郭や表情、ポーズのバランス、余白を残しながらすべてを塗り切らない色面は、シンプルかつ誰にも真似できないユーモラスな表現力を持つ。

2 まちあるきワークショップ 概要

菅野眞二氏と関係者が仙台駅東口～宮城野原地区周辺を散策し、地区の歴史や文化資源を探り、仮囲いアート作品のモチーフとします。

○日 時 令和8年2月19日（木）10：00～14：00

○経 路 榴岡公園→榴岡天満宮→孝勝寺→東北福祉大

○参加者 菅野眞二氏、ペンギンズアート工房、仙台駅東まちづくり協議会、エイブル・アート・ジャパン（制作チーム）、まちあるきガイドボランティア 等

※仮囲いへの掲示作品は、菅野氏の既存の作品と、本ワークショップで制作した新作を組み合わせたものとなる予定です。

※仮囲いの作品掲示は令和8年3月下旬を予定しています。